

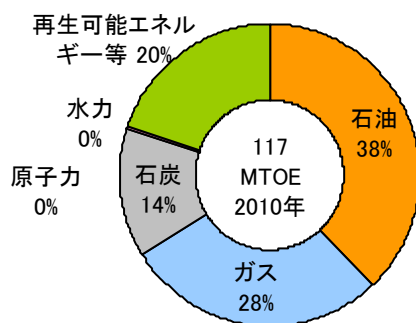
## 1-6 タイ

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 117 百万 TOE (日本の 0.26 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 1.70TOE (日本の 0.47 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 60%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 248.45 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 21.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 3.59CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 40.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 3.5 年、天然ガス 7.6 年、石炭 58 年

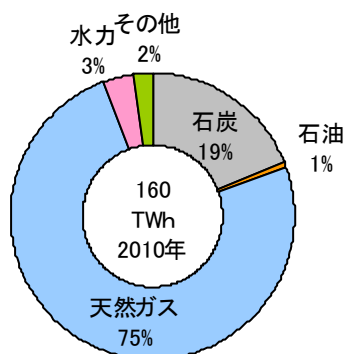
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Thailand

(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Thailand

(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries 2012

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

2002年10月3日施行のタイ省庁改正法に基づいてエネルギー省が新設され、その傘下にある Energy Policy and Planning Office (EPP0) はエネルギー需給状況の監視、開発5ヶ年国家計画に沿ったエネルギー政策の立案、実施、評価を担当している。

### (2) 基本政策

2008年12月に Abhisit 首相（当時）が行った政策演説にてエネルギー政策の概要「Thailand's Energy Policy」（以下『タイエネルギー政策』）が発表された。重点分野として「エネルギーセキュリティの強化」「代替エネルギー導入の推進（バイオ燃料、天然ガス自動車、再生可能エネルギー）」「適切なエネルギー価格維持のための監視」「省エネの推進」「環境保護ができるようなエネルギー生産、消費プロセスの推進」が挙げられている。

### (3) 最近の動向

- 2010年～2030年までの電源開発計画（PDP2010）において、当初、各100万kWの原子力発電所5基を2020年から逐次運開し、2028年時点での発電量の10%を原子力で賄う計画であった。しかし、福島第1原発事故を受け、計3回のPDP見直しを行い、導入時期を2026年に延期、発電容量も当初の合計500万kWから同200万kWに縮小させた。
- 2011年9月、PTTは東南アジア初のLNG受入基地となる Map Ta Phut Terminal（500万ton/年）の商業運転を開始。受入量を1,000万ton/年へ拡張する計画も策定済で、2016年完成予定である。PTTはカタールからLNG100万ton/年の輸入を確保している<sup>1</sup>。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2011年11月、国際協力銀行はみずほコーポレート銀行などと連携し、Jパワー等日本企業が参画する天然ガス火力発電事業に約920億円を協調融資する貸付契約を締結した。建設から運営までを受け持つパッケージ型インフラ輸出で、発電総量160万kW、約25年間にわたりEGATに売電する。タイのIPP事業としては過去最大規模になる。
- 2012年4月、「日メコン首脳会議」が東京で開催され、メコン川流域5カ国が加盟する東南アジア諸国連合（ASEAN）が15年に共同体を発足させることを念頭に、5カ国の連携強化や経済成長を促す基盤整備のため、日本が3年間で約6,000億円の政府開発援助を供与すること等を盛り込んだ「日メコン協力のための東京戦略2012」を採択した。

---

<sup>1</sup> Global Insight, 2011. 6. 13

## 2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	117.43	MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	1.70	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.56	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	60	%
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	248.45	百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	3.59	CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	石炭	14 %
		石油	38 %
		ガス	28 %
		原子力	0 %
		水力	0 %
		再生可能エネルギー等	20 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	40	%
(9)	石油の輸入依存度	61	%
(10)	輸入原油の中東依存度	72.9	%
(11)	原油輸入先	第1位	UAE
		第2位	サウジアラビア
		第3位	オマーン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition.

(5)～(6)は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition.

(10)～(11)は Energy Policy and Planning Office.